

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけつと東大宮教室
公表日	2025年12月15日
利用児童数	2025年12月15日 回収数25/44

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2			・子供に丁度いい広さ ・常に1対1でありがたい	今後更に職員間での話し合いを強化していき、ご利用者様の声とお子様の生活のニーズや必要性に合わせた支援を行っていきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		1	常に十分	ありがとうございます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2			子供に分かりやすくなっている	ありがとうございます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1			ちゃんと掃除がされていて綺麗です	更に過ごしやすい環境を整えていきます
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1			・子供の様子を見て毎回様々な活動があり色々なことができるようになりました ・興味にあわせてくれます	職員間での話し合いを強化して必要な支援がさらにできるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		1	・子供の様子を見て毎回様々な活動があり色々なことができるようになりました ・ABAの専門性が高い	お子様や保護者様が楽しみながら「できた！」を目指していきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1			・子供の様子を見て毎回様々な活動があり色々なことができるようになりました ・良く対応してくれます	ありがとうございます。保護者様の声やお子様の「楽しい」などの笑顔が励みになります
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		2	支援計画を元に個別であったりお友だちと一緒に楽しめる活動でありがたいです	お子様の状態によってソーシャルを提案させていただいています。楽しい園生活、就学に向けての提案をさせていただきます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2			支援計画を元に個別であったりお友だちと一緒に楽しめる活動でありがたいです	先生との関りだけではなくお友達とのやり取りもとても大切になります。笑顔で進められたらと思います
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	5	5	月齢が小さいため分からない	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1			見学の時から丁寧に説明をして下さりまた面談では長時間話を聞いてくれている	わからないことがありましたらお気軽にお問い合わせください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1			見学の時から丁寧に説明をして下さりまた面談では長時間話を聞いてくれている	ご不安なこと等がございましたらお知らせください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	7	3	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2			毎回話せます	お子様に聞かれたくないなど直接お知らせしにくい場合はお電話やセラピーノートへの記載をお願いいたします。対応させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	1		・毎回話せて助かります ・助言はたくさんしてほしいです	普段のFB時のみではわかりにくい場合等あるかもしれません。面談にてお伝えさせていただきますのでお知らせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	9	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		5	・読字せず	ご利用者様のニーズに合わせた取り組みが出来るようプログラムを実施しております。読字に至るまでのプロセスを組み足せさせて頂いておりますので一緒にお子様の成長を見守っていただけますと幸いです
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	4	1	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1				

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		4	幼稚園のようにお知らせがあると分かりやすい	お知らせが不足しており大変申し訳ありません。ブログのお知らせのみならず、今後は観覧しやすい取り組みを導入させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3		10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2		5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1			毎网通所する事を楽しみにしています。ここでしか会えないお友達や先生に会っておしゃべりして活動をしたり色々なことができるようになりました。ありがとうございます！今後ともよろしく願っています。	ありがとうございます。安心感につながっているとの事、嬉しく思います。社会にはばたくための休憩所となり自信につながる支援にしていきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	3			毎网通所する事を楽しみにしています。ここでしか会えないお友達や先生に会っておしゃべりして活動をしたり色々なことができるようになりました。ありがとうございます！今後ともよろしく願っています。	ありがとうございます。ご利用者様の笑顔がとても励みになります。私達も毎通楽しく、元気を頂いています！
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2			毎网通所する事を楽しみにしています。ここでしか会えないお友達や先生に会っておしゃべりして活動をしたり色々なことができるようになりました。ありがとうございます！今後ともよろしく願っています。	ありがとうございます。就学に向けた取り組みとして「頑張る」姿勢を楽しみながら応援させていただきたく思います

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名		てらびあぼけっと東大宮教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		時間を決めての掃除を行い、喚起や消毒の徹底を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間にて把握できるように朝礼・終礼時に共有を図っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		不安が残るケースや職員間の対応の統一がなされるよう朝礼・終礼時に共有を図ると共に共有漏れがないようファイルにまとめる対策をしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		個別支援計画を確認しながら方向を見定めている。イベントなども取り入れながらできる事を楽しみながら増やしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		お子様の状況を見ながら個別から集団での取り組みを必要に応じてお話をさせて頂いています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼・終礼時に共有を必ず行い、業務日報やファイルにて伝え漏れがないようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		その日の様子や課題内容を記録に残し、難しい様子や出来たことを交えながら次の方向を職員全員で考えています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		リスト化し、目視で把握できるように工夫をしています	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			

関係機関や保護者との連携		(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		必用に応じて事前に職員間にて会議を行い、管理者に伝え助言をもらっている	入社して間もないためわからない職員にも周知を行い情報の共有をはかる
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		FBやセラピーノートなどでお子様の様子を把握させて頂き、変化に対応してセラピーを行っています	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ご家族の負担にならない範囲で、ご家庭で出来ることの提案や教室での取り組みを復習してきていただけるよう声掛けをさせて頂いています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時もしくは支援計画の更新の際に主に説明をさせて頂いています。質問がその都度あった時には対応をさせて頂いています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者様のお気持ちを受け取らせていただきつつ、園生活や成長に必要なことを段階をつけながら説明させていただくと共に必要な支援の計画と一緒に考えさせていただきながら作成しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		分かりやすい説明ができているかを確認させて頂きながら行っています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		FB時にご不安や心配事がないかの聞き取りを行いながら、具体的な相談をしたそうな保護者様がいらした際には会議で議題にあげ、管理者からの面談が必要か話し合うと共に面談になるか保護者様に声を掛けさせていただきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		ソーシャル時のFB時に設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSを通じて行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		ダブルチェックを行い間違いがないようにチェックを行っている	ダブルチェックとはの認識を職員間での統一をはかり、間違いがないように強化していく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		目視や分かりやすいように説明を行い認識の統一を図っている	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		イベント時に教室の紹介を地域向けに開催させて頂いていた	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		訓練の様子をブログにて掲載	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		目視にて把握できるようにファイルに記載している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		職員の個人の判断だけではなく周りから見た時の判断を交え、ヒヤリハットの確認をしています。職員間で共有し再発防止に気をつけています	朝礼や終礼時に共有を必ず行う事、聞き漏れ、伝え漏れがないようにお互いに声を掛け、未然に防ぐための策を考える
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		できる事、難しいことの判断を見余らないようにする。職員が求めすぎた結果にならないように冷静な判断が出来るよう職員間の風通しを良くしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぽけっと東大宮教室			
○保護者評価実施期間	2025年 11 月 1 日 ～ 2025 年 11 月 30 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 11 月 1日 ～ 2025 年 11 月 30 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12 月 15 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ABAを元に支援を行うことは基本的なベースとして持ち合わせていることに加え、保育士として長年勤務してきたスタッフと、音楽療法を学んでいる専門性の高さがあげられる。また、言語聴覚士による見解が加わることでより高い専門性に特化できている。	お子様の様子を見させていただきながら悩み事に対しての専門的なアプローチの実践を行っている。また感覚統合を取り入れられるよう身体の使い方の練習を積極的に行い、総合的なアプローチを目指している。	各職員のレベルを上げていけるよう研修や知識の共有などをはかり、保護者様やお子様への支援に繋がるよう時間の調節を工夫しながらレベル上げを行う
2			
3			
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務を行う上で間違いがないように気をつけてはいるものの、ミスがどうしても出てしまう。ダブルチェックの重要性の認識を高める。時間を決めて複数人で業務にあたることで確実性を高める。	役割分担のあいまいさによるものが大きな原因のように感じる。時間の空いたスタッフが業務にあたるとなると、連携が取りにくくなってしまったため、役割分担、業務の分担を決めての取り組みを行う仕組みを画一する。	役割分担を決め、時間をあらかじめ確保することで、決められた時間に業務の効率化が図れる体制を整えておく。予めシフトの管理を予定の把握と共に立てる
2			
3			